

第9回コミュニティビジョン推進戦略会議の概要

1 報告事項

(1) 第8回会議概要について

報告の結果	出席の全委員によって確認
委員からの 主な意見 及び 事務局回答	<p>○委員 インターネット回線の話があったが、メールアドレスの@からは同じのが入って、系列みたいな形の方が運営はしやすいのではないか。</p> <p>●事務局 市内各所で設立をされれば、一斉配信などの効率性も出てくると思う。今後、検証・評価し検討したい。</p> <p>○委員 3モデル地域以外は具体的に設立に向けた動きはないという説明だが、動きがないというのは全くないのか、それとも、何かがあって行き詰まっているのか。現状について整理し教えていただきたい。</p> <p>●事務局 今後、周知・広報も含めて働きかけをしていきたいので、具体的な動きというのは、いずれかの時期にご報告したい。</p>

(2) モデル地域の活動状況について

報告の結果	出席の全委員によって確認
委員からの 主な意見 及び 事務局回答	<p>○委員 総会には行かれたのか。その時の実状、どのような問題が出て、例えば行事が承認されたとか。様子を話していただければ。</p> <p>●事務局 職員も出席させていただいている。25年度の事業、予算、地域コミュニティプランの策定に向けた行程表などについてのご説明等があり、その中で質疑が行われ、内容の確認と承認がされた。</p> <p>○委員 住民アンケートの実施というのがあるが、これはひな形があるのか。それとも、全てそれぞれの校区が別で作って配布をされているものなのか。</p> <p>●事務局 アンケートの項目については、地域の課題抽出ということになるので、基本的な項目は共通であるが、地域の自慢は何ですかとか、地域の良さは何ですかとか、地域にこのまま住み続けたいですかとかいった事柄については、3地域で多少異なっている。それぞれのオリジナルという形で、地域の皆さん方が取り組んでおられる。</p> <p>○委員 総会については、どんな人たちが出てくるのか。たくさんの団体が加</p>

	<p>入しているが、この中からどの程度出席がなされるのか。</p> <p>●事務局 かなり多数の団体が参加している協議会もあるので、代議制ということで、基本的に団体の代表の方が出席している。</p> <p>○委員 各協議会の定期総会に参加された人数と出席率を教えてください。地域の人たちの意見が定期総会でどれくらい反映しているのかということを知るための資料になると思う。</p> <p>●事務局 確認の時間をいただきたい。次回の会の中でご報告させていただきたい。</p> <p>○委員 定期総会で審議された行事を見ると、ほとんど校区公民館運営審議会がやっている行事である。モデル事業だが、市が狙うものはこの中に何か出てくるのか。</p> <p>●事務局 基本的な活動は校区公民館運営審議会の事業などを引き継いでいるので、今あったような状況にある。市が狙うものとしては、5年10年後を見据えた地域コミュニティプランを作るという作業を、今やっけていただいている。今後プランが出来ていくと、そのプランに基づく事業も実施されていくことになる。</p> <p>◎委員長 地域コミュニティ協議会と校区公民館運営審議会の違いは何かということで、重なってるんじゃないかという質問がこれまでの会議でも出てきた。校区公民館運営審議会というのは、社会教育活動、生涯学習の充実や振興を図るということで各小学校区に設置されている地域におけるコミュニティ組織のひとつであり、主管が教育委員会となっている。これに対し、地域コミュニティ協議会は、既存の町内会、あるいは校区公民館運営審議会などの色々な地域コミュニティ組織、NPO等も含めて、広く地域の課題を、みんなの知恵を出して、地域課題解決型の組織ということで運営がなされるというふうに理解をしいいのではないかと思います。</p>
--	---

(3) コミュニティビジョンの周知・広報について

報告の結果	出席の全委員によって確認
委員からの主な意見及び事務局回答	<p>○委員 いろんな団体に研修会等を実施しているが、その会でいろんな意見がでたと思う。お聞かせいただければ。</p> <p>●事務局 最初に出てくる意見として、地域で是非取組を進めていきたいという一方で、校区公民館運営審議会をもっと拡充する、あるいは市からの補助を増やすことでやっていけないのかという意見もあった。</p>

	<p>○委員 全79小学校区を、例えば今年一年間でこういう段取りで全体に説明をしていきますとか、あるいは2年計画ですよとか、プランはあるのか。</p> <p>●事務局 全ての地域を回りたいと考えているが、まだ部分的にしか行っていない状況にある。今後、教育委員会とも十分に連絡をとって、25年度中に、校区公民館運営審議会の方々に一通りは説明させていただきたいと思っている。</p> <p>○委員 私も今まで聞いていた時には、モデルの話があっても、ああ、そうかそうか、というような気持ちで聞いていた。全市に設立する目標を持っているんだったら、みんななってもらうんだよ、だから分かってくださいっていう、市の意気込みがあった方がいいと感じた。</p> <p>●事務局 この取組については周知広報が非常に大事だと思っております。27年度以降どうやって拡大していくのか十分認識をしていただかないといけない。今後も市民のひろば、インターネット、ホームページ等、様々な地域の集会等にも出席をして、周知広報に努めていきたいと思っている。</p> <p>○委員 周知広報ということ非常に大切だと思うが、こういった沢山の方が集まる場所に相当な数を行かれるのだから、そこでは、住民の方たちの意見を、きめ細やかに聞いていただくということが、とても大事だと思う。不安がとても大きいと思う。このように大きく組織変動するのだから。その不安がどういうところにあるのかということをしつかりと汲み上げて検証していくということが大事だと思う。</p> <p>●事務局 これまでの活動とどこがどう違っていくのか、またそれによって自分たち役員の負担がどうなるのか、そういう事柄を含めてよくご質問がある。不安の払拭については大事なことだと思う。意見、ご質問等があれば、そういった不安を解消出来るように説明していきたい。</p> <p>○委員 私はこのプランはすごく良いと思う。自分たちのところで考えてみても、役をする人がいない。狭い範囲だから見つからない。それが広く考えてみると、病院も入る、薬局も入る、幼稚園も、保育園もとずっと考えてみると、その中に、役をしてくださる人もいるかも分からない。今、現実を見ると、みんな各々やっている。バラバラで、それに関係する人は知っているけど、関係しない人は全然知らない。だから、そういう連携が出来るということで、このプランはとても良いと思っている。私たちの小さい町内会だけでは何も出来ない。町内会に老人会があり、あいご会があり、そして民生員がいる。こういう人たちがみんな一緒になって、一つの行事をする。協力する。連絡会を持つ。</p>
--	---

	<p>そういうことで、運営していく。それを大きくしたもので、情報交換も出来て、その校区の人たちみんなが仲良くなっていくような気がする。</p> <p>○委員 今おっしゃっていただいたようなことは本当に具体的に説明していただいたので、よくみなさんに響くと思う。ですが、私も前から聞いておりますと、役所の説明がピンとこない。ちょっと危機感を持たせるためにも、具体的な説明をなさったら、みなさんがもう少しピンとくるのではないかと思う。説明の仕方をもう少し、回りくどくじゃなくて、具体的におっしゃる工夫も必要じゃないかと思う。</p>
--	---

2 協議事項

(1) モデル事業の検証・評価項目について

協議の結果	出席の全委員によって確認
委員からの 主な意見 及び 事務局回答	<p>○委員 これは、検証・評価は我々がするんですよね。我々メンバーが。</p> <p>●事務局 まずは、市の方の対応がどうであったかという自己評価。それから、モデル地域においては、モデル地域自体の活動についての自己評価と市からの支援等が適切であったかどうかということの評価をしていただく。その評価の結果等を交え、推進戦略会議の方で評価をしていただく。</p> <p>○委員 5段階評価ということだが、学校の先生に、今はもう4段階評価だと聞いた。みんな普通と書いてしまうと言うんです。ですから、普通というのではない方が基準としては分かりやすいと思う。</p> <p>○委員 なかなか判断が出来ない時に普通にしやすい。最終的にこの結果をどう扱うかによっても変わってくると思う。</p> <p>○委員 そもそも何の為に評価するのかというのがあると思う。結果として良かったねって言って、あるいは良くなかったねって言って終わってもなんの意味もない。それを次のステップに生かすためにどの点を改善するか。どういうプロセスが非常に上手くいったのか。プロセス検証作業なので、暫定的には、5段階であっても、4段階であっても良い。要は、a b cのどれに当るかを定めることが目標ではないということを何かの形で織り込みたいなど。</p> <p>●事務局 良し悪しを付けることによって終わりではなく、みなさま方に評価をしていただく時には、より具体的な改善に向けての項目であるとか意見であるとかそういったものも記述をするような形になってくると思っている。5段階評価を4段階にするか、これについてもまた検討し</p>

	<p>てみたいと思う。</p> <p>○委員 検証・評価シート（市）（案）の設立のところに（２）地域の主体性という項目があって、設立総会は、地域コミュニティ協議会の構成団体に呼びかけるなど地域をあげて開催されたか。とあるが、これは市がやる総括になるのか。</p> <p>●事務局 いくつか評価の対象と自己評価の項目と混ざってる部分がある。この地域主体の設立がなされたかというのは、私どもからコミュニティ協議会を見て、より多くの団体の参加があったかというところを評価させていただく。評価項目の中では、行政が自ら評価をする部分と、コミュニティ協議会を見て評価する部分、それから、モデル地域の場合は逆に、自分のモデル地域としての活動がどうであったかを自己評価する項目と、市からの支援、相談等に対する対応等がどうであったかの評価と混ざってはいる。</p> <p>○委員 検証・評価シートというこれは、我々も評価をして、この次の１０月の時に持ってくるということになるか。</p> <p>●事務局 １０月の第１０回の中では、まず、私どもの評価シートについて、なぜこの評価なのか、どういった活動をしてきたかといったところを検証の欄でご説明をさせていただきたい。それに対して今度は地域が、どういう評価をしているのかということと比較させながら、推進戦略会議として評価をいただければと思っている。モデル地域の場合も、なぜこういう評価になったかということは紙ベースで説明をしても、実態はどうなのかというところは疑問に思われるかもしれないので、出来れば関係者の出席も要請し、合せて評価をしていただければと思っている。</p> <p>○委員 いつ頃までにこの協議会を立ち上げましょうということで動き出しますよね。それが、例えば計画通りにいったのかいかなかったのか。もし、いかなかった、ずれたんだとすれば、何でずれたのかということを入れてくださると、後からやる人たちが、ここで躓くのかなということが分かりやすくなる。時期に関わることは、きちっと押さえていただきたい。もう一つは、各団体に呼び掛けるということですから、呼び掛けても参加しなかったところは、どうして参加しなかったのかということについても掴めるような客観的な数字とともに入れておいてくださると後でいいと思う。３つ目は、参加される各団体の意見が、これを結成するときどういう形で拾い上げられたか、ここでは設立準備会の設立に当っては、地域住民の理解を得るため、周知を行ったか。というふうに書いてありますが、どういう意見を拾い上げながら</p>
--	--

	<p>やったのかということがないと、主体的参加ということには中々結びつかないだろうと思う。</p> <p>○委員 項目がすごく大きくて協議会によって書き方がずいぶん自由に任されている。そういう意味では書きやすいということはあるかもしれませんが、ここがものすごくアバウトな形で出てきたら、コミュニティビジョンの推進を図るための材料になるのかなと、ちょっと気になる。これをもっとさらに細かくされるという計画はあるか。</p> <p>◎委員長 考え方ですが、例えば、設立検討の1のモデル事業への働きかけというところで、表現方法も、地区によってかなり違ってきますよね。同じ事態を書くにしても、であれば客観的にもう少し書き込めるような項目を設けた方が、より作業もしやすいし、分析もしやすいし、課題解決に結びつくのではないかと、私は取りました。ここの検討余地を質問されてるんですが、事務局としてはどうお考えですか。</p> <p>●事務局 この項目については、取組として具体的な内容が、検証のところ、いつどういったことをしたかという事実の列挙が出てくるかと思いますが、そうした時に、あらかじめ想定した団体数があって、それに対してどこまでいったかというところまでは、地域も目標団体数の設定はないかと思います。もっと客観的により具体的にということも、私どもとしては考えないといけない部分ではあるが、今の時点で評価項目としては、具体的な事実を基に、どういうことがあったか。地域の方にはどういう対応をお願いしたけど、その後どうであったかとか、そういった事柄が羅列されてくるだろうと思う。そのことについて、地域のみなさま方の、あるいは役員の方々の満足度がどうであったか。また私どもの方から地域に対する働きかけとして十分であったか。そういったところを検証していきたい。</p> <p>○委員 これは乱暴な提案ですけど。例えばこれで一回通してみて、どんな結果になるかというのを見て、この項目が評価シートとして耐えうるかどうかを、一回確かめてみるっていう作業をやられたらどうか。普通アンケートをやる場合は、アンケートが有効性を持つかどうかというのを事前に一度やった上で、質問項目として十分に理解していただいて上手く回答が返ってくる項目になっているかどうか確かめて、やると思う。</p> <p>●事務局 実際にこの評価項目でモデル地域をお願いをした時に、どういった内容のことを具体的に出して評価をするのか、疑問等が出てくるでしょうから、こういったところを気を付けて、こういったところを中心に評価をいただければとお願いをすることになると思います。一項目ずつ具体的に細かく挙げていく、その方が地域の方たちが分かりやすいということであれば、また地域のみなさん方ともそこは十分ご相談を</p>
--	---

	<p>しないといけないかなと思う。非常に大きな捉え方かもしれませんが、事実に基づいて評価をしていただきたいということで作っているので、具体的な表現として、地域のみなさん方が非常に分かりづらいというところがあれば、その時点でいろいろご説明させていただきたいと思っている。</p>
◎委員長	<p>この検証・評価シートの案は、今の委員の意見を汲んで、案づくりの余地があるのかどうか確認したい。このままで取ってみるという考え方か。</p>
●事務局	<p>項目についてはこのままで取ってみたいと考えています。検証の欄にそれぞれこれまでの事実を踏まえ、モデル地域ではこういった際にこういった事柄があった。これについてはこういう考えでおるとか、あるいは、こういったところを見直すべきであるというような内容の表記がされるだろうと思うので、項目についてはこういった内容でお願いをしたいと思っている。</p>
◎委員長	<p>検証のところを原案よりも詰めて、ヒアリングも掛けるような形ですね。</p>
○委員	<p>このアンケートの用紙を、我々ももらって検証をしてみたいと思いますが、それは出来るんですか。</p>
●事務局	<p>住民アンケートについては、地域課題抽出等との関連も出てくるので、プラン作りという過程の中で、みなさん方にこれからの段階でお示しをしながら協議をいただく。そういう場面は出てくると思う。</p>
◎委員長	<p>事務局の話しでは、案については項目はこのまま生かしたいということですね。そして検証については、マニュアルと言いますか、こういうことを注意して具体的に書いていただいた方がというような注文は付けてもいいのではないかと思います。サンプルみたいな形でですね。評価は総合的なものですから、判断材料はそんなに大きくは変わらないと思いますけど、検証のところは次に改善をするために、課題改善のために役に立ちますので、ここは少し詳細に検討していただくという方向でと思います。</p>
●事務局	<p>検証のところは、より具体的な事実の記載等もあるので、サンプルとか、こういった点に留意をして記載をしていただきたい旨の資料は提供したいと思います。</p>
◎委員長	<p>検証作業のところと評価のところ、連動してくるところもあるので、そこは事務局に詰めていただき、作業を進める段取りをしていただきたいと思う。</p>

3 その他

協議の結果	出席の全委員によって確認
委員からの 主な意見 及び 事務局回答	○委員 住民アンケートがそろそろまとまってくるのかなと思うが、その内容の公表は委員にもしていただけるのか。 ●事務局 アンケートの集約結果等、項目等については、それぞれのコミュニティ協議会の代表者の了解を得て、みなさん方にもお見せをする機会を得たいと思っている。